

湯前町総合防災訓練に伴う上球磨地域事業所連絡会 情報共有訓練（R4.10.30）実施後アンケート集計

(1)エルガナを用いた情報共有について、以前行った FAX を用いた訓練と比べてよかった点

- FAX に比べてスムーズに情報のやり取りができた。写真や MAP を使って各地の情報がわかりやすく表示されることも素早い情報把握に役立つと感じた。
- アンケート機能も発信側が依頼可能かどうかを素早く把握するためにとっても使いやすいツールだと感じた。
- 場所を問わず、情報共有が瞬時に受けとれる。
- 既読情報の確認ができる。
- 利用者情報も送れるのがよかった。
- 位置情報及び写真掲載がわかりやすかった。
- 地図も添付でき、通路状況が確認できた
- 必要な情報が随時更新され、また、不足人員・物資等の調整が広域で速やかに行うことができ、大変有効な通信手段だと思った。
- 既読した方などが一覧で確認できるので、ネットワーク遮断によりエルガナが使えない時も情報を確認しているかどうかという情報が得られると思った。
- 災害の規模、施設の状況、人材や物資に関するもすぐに確認ができ、アンケート機能により各施設や行政へ、人材や物資の参加依頼等がすぐにできる事は、実際の災害でも役に立つと思う。
- 情報伝達が早くでき、参加する全員が情報を共有できるのでタイムロスがなく、非常時などでも素早く対応できる点が良かった。また、スマホにアプリを入れておいたので、自宅でも外出先でも情報が確認できる点が便利。
- タイムリーな情報発信と情報収集が可能。使い方、機能はシンプルで大変使いやすいと感じた。

(2) SNS(エルガナ)を用いた訓練において課題となった点

【機能面】

- アンケート機能は、自分が回答しないと集計結果が確認できない（作成者も同様）。アンケート回答対象者を選択できる機能があればよい。
- アンケート機能の集計について、同事業所で複数人参加している場合はすべてカウントしてしまうため、同事業所からは 1 つの回答で対応できないか。
- 情報が多すぎてコメントが流れてしまう。遡り確認が大変（クリップ機能も大量になる）。
- 常にスマホを確認できればいいが、見るのが遅れたりすると関わる部分を探すのに時間がかかる。
- 課題は通信制限や電波が届かない場合が使えないのかなと思いました。
- エルガナの地図では 1 箇所しか目印ができず、複数箇所発生した場合の対応など考えておく必要がある。
- 通常あまり使用する機会がないと、緊急時など操作方法を忘れて慌てるのではないかと感じた。一度にたくさんの情報が入ってきたときに大切な情報を見落とし（被害状況のアンケートでした）後で気づきました。

【運用面】

- エルガナの情報確認及び発信に対し、1 人が付きっきりになってしまう状態であった。緊急時には情報の発信ができない場合もあるのではないだろうか。
- エルガナに情報が集約されるので、エルガナのやり取りに集中してしまう。使用しながら他の避難誘導などの対応は難しいと思うが、災害時はエルガナ担当(管理者が望ましい)を事前に決めておくとういと感じた。
- LINE のように情報が上がってくるので、大事な情報への回答は極力少なめにする取り決めや、個人の意識が必要と思った。
- 依頼についての返信をどこまで送ればよいか迷った。
- 9月の台風14号災害時には、停電により固定電話・携帯電話・光回線などのネットワーク通信遮断が村内発生し、復旧に2日要したところもあった。通信手段の途絶えたときの情報伝達方法等もあらかじめ決めておく必要があると感じました。
- 災害発生時には、高齢者支援課も避難所待機等動員されるため、災害対策本部に入ってくる情報を随時更新できるかが課題。
- 行政の動きや町民への発信、事業所内での共有等については、確認すべき点があると思います。
- 3 町村での運用となった場合、地震などの大規模災害時には一つのトーク内で情報が錯綜すると思われる。まとめて情報が入ってきたときに見過ごしたり未対応のままとなっていたりするものが出る可能性がありそう。
- 3 町村の行政と事業所の情報が発信されるため、画面上がやや混雑するのかなという印象でした。
- 個人の携帯電話を使用しているので、使用できない状況になったときが不安です。登録者を増やすこと等はあるのでしょうか？
- 福祉避難所の開設や受け入れについてはその所在地の行政と締結を交わしている事業所間での連絡調整になると思いますので、まずは 3 町村行政にて情報共有していただき、そこから必要な情報（応援や必要物資等）を各事業所へ伝達していただく方法もわかりやすいのではないかと思います。

(3)災害や行方不明者発生時の情報共有について、今回使用した SNS(エルガナ)を用いて上球磨地域事業所連絡会全体で今後取り組むことに関しての意見

- ①全体で取り組みたい (13)
- ②どちらでもよい (1)
- ③全体での取り組みは困難 (0)

(4)今後の上球磨地域事業所連絡会の情報共有訓練や連携体制構築に向けてご意見等

- 災害時における体制を万全にするため、施設におけるエルガナの登録者数の枠をもう少し増やしてほしい (+2 名程度)
- エルガナのアカウント登録について、今回の訓練では 2 名の登録をしていたが、実際に災害が発生した際に、登録が 2 名であれば対応できない場合があるように思われる。そのため、登録できる人数を増やせるように検討していただきたい。
- いろいろなことにチャレンジしていただき、ありがとうございます。実現に持って行くのは大変だと思いますが今後ともよろしくお願い致します。
- 上球磨地域事業所連絡会全体で災害訓練が実施でき、施設間の連携についてイメージができました。今後も継続していくことが大切だと思います。
- 訓練に参加をしたことで、施設内外の危険個所や災害発生時の対応方法、備蓄品や寝具などの必要物品など改めて確認をすることができた。
- 今回のような訓練は必要と思いますし、今後も年に 1 回は必要と思います。
- 今回の訓練、大変有意義なものでした。いつもながら準備段階からご苦労いただき、ありがとうございました。せっかくエルガナを使用する方法も学びましたので、今後も定期的に訓練で使っていけたらいいなと思います。
- 職務の情報共有のためにエルガナ等を活用することで、日頃多くの方が使用されているライン等との区別がしやすく、個人携帯を活用したとしても、公私の区別が付きやすくなると思います。一方で、SNS を使い慣れていない方や高齢の職員の方は、一般的にですが LINE 等の日頃から使い慣れたツールの方が抵抗なく活用できるのではないかと思います。
- 各事業所の BCP に上球磨地域事業所連絡会の旨（災害時の上球磨地域事業所連絡会での相互応援協力体制等や備えのための訓練等）を記載することで、各事業所でも上球磨地域事業所連絡会の位置づけや体制の強化が図れ、BCP に基づき、日頃の訓練や実際の発生時の職員の応援派遣や物資等の提供等、実動しやすくなるのではないかと思います。